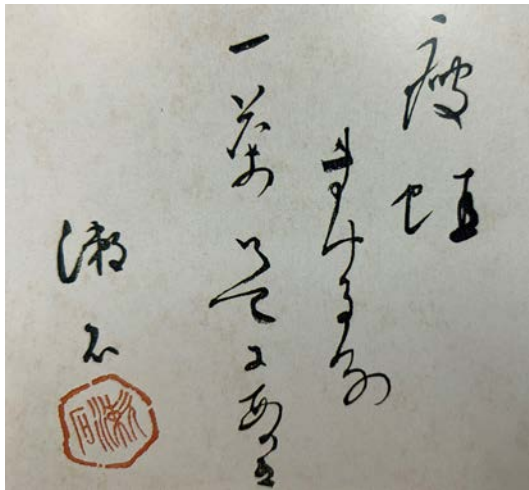




さん ぐ しゅう
『三愚集』

～一茶・漱石・芋銭 つながる心の世界～

『三愚集』とは千葉県流山市の俳人で実業家の秋元梧樓ごろうの企画により、梧樓が選句した一茶の発句二十七句を、夏目漱石が揮毫、小川芋銭うせんがこれに俳画を添え、大正九年に百部限定で俳画堂から出版したものです。梧樓より五代前の秋元双樹そうじゆは一茶と交流がありました。それを梧樓が記念して漱石と芋銭に制作依頼し、時代を超え、芸術の枠を越えて三者による作品が世に出る事となりました。



一茶の句と漱石の書



しゃだつ
洒脱な芋銭の絵

